

「かけ橋」

第 27 号
編集・発行
願船坊

R 元年 11 月



上記の『私たちのちかい』は、「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいの思いから、その肝要をおまとめになられた「ご門主さまのお言葉」です。

一、殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人々の救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいります。

二〇一八年十一月二十三日

浄土真宗本願寺派門主 大谷光淳

大窪さんの「居場所」作り

日曜学校が所属している少年連盟の指導者研修会でのお話です。ご講師の先生として来られていた、広島COMのディスクジョッキーさんである大窪さんのお話で、とても感銘を受けました。ラジオ番組での投稿では、時に「死にたい」とか「万引きやっちゃいました!」とかいう、とんでもない内容にコメントをしなくてはならないそうです。そんな時に、公共の放送では扱いにくい内容に対して、大窪さんは普通考えつかないような応対をされるようです。

私が一番びっくりしたお話は、次のようなお話でした。

ラジオの投稿で「俺、やっちゃいました!万引き」とこう来たら、「ダメだよ、そんなことしちゃあ」という対応が普通考えつかないのですが、彼はこう言ったのでした。

「やったね!すごいじゃないか。それって相当エネルギー使ったんじゃない?でもさ、やっぱ、まずいんじゃないかな、万引きは。本当はやっちゃいけないってこと、わかってるんだろ?」
だったら、同じエネルギー使うのなら、誰かのために使うのはどうかなあ?そのことで助かる人や、喜んでくれる人がいるほうが良くないかなあ。君のやったことに対して”ありがとう”って言うてくれると思うんだ。そっちの方が良くない?どう思う?」

その後、彼は「分かった」と言ってくれたそうです。

大久保さん曰く、『若者の心は、パチンコのチューリップみたいな

ものなんですよ。まずは、その心を開かせることが大事で「ダメ」ではなく「そうなんだ」「そうだよね」と否定ではなく肯定してあげることで、これがポイントです。』

彼は、悩み多き若者の居場所作りにラジオの番組がなれたら、という思いで日々勉強されているとか。

言われてみて、改めて我が家が娘達の「居場所」となっているのかと自分に問うたとき、大人の論理で頭ごなしに叱ったりしていないだろうか。最近の子供の考えていることは理解不能、と言う前に子供の行動を理解しようとしているだろうか、その行動を認めているだろうか。そんな風に振り返ることこそが、居場所作りへの始めの一步かも知れない、と思う父親でありました。

(住職)

平成三十年 秋供養・報恩講法要

人はみな死んだら往生して仏様にならせていただく。

これは浄土真宗ではありません。もしそうなら、お聴聞する意味がありません。そうでないから、本当の事を聞かせていただくのです。

聖人は、ご苦労された末に阿弥陀様に遇われたのです。遇うことが出来たひとは、お浄土へと向かうことができるのです。

その歓びをあとに続く私たちにその事を自らお示しして下さった親鸞さまのお言葉を聞かせていただきましょう。

阿弥陀さまは目に見えないから素晴らしいのです。

阿弥陀さまは形がない声「お念仏」となって、いつも私と一緒にいてくださるのです。そのことがいたただけた時、歓びとなって確かなものとなっていくのです。

(ご講師・福岡制意師のご法話より)

おてらおやつクラブ



おてら
おやつ
クラブ

現代の世の中には、貧困の最中にいる子供たちが、かなりの数でいるそうです。

この、「おてらおやつクラブ」という活動は、その貧困の家庭を支援する団体に、お寺の「おさがり」を「おすそわけ」する活動です。

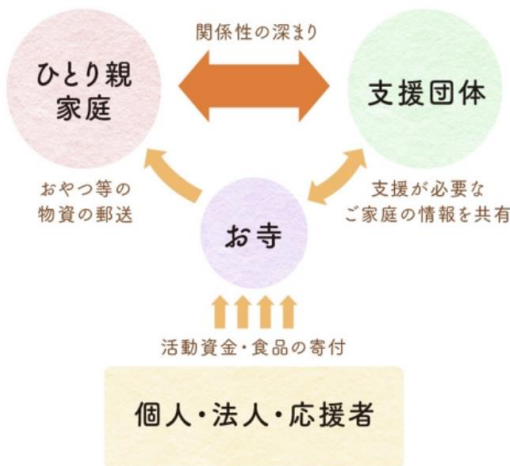
お寺には比較のお饅頭や果物のようなものを頂くことが多い時期もありますので、定期的におさがりをお送りしております。

皆さんのご家庭でも、頂き物で比較的賞味期限の長いお菓子や食べ物、保存することの出来る食料、買ったけどあまり着なかつた子供の服、頂き物だけ使わずにとつてある身の回りのものなどなど、お寺に持って来ていただければ、ご一緒にまとめて送ります。また、ご一報いただけましたら、住職が回収に回らせていただきます。

昨今、台風の災害関連の募金活動などがあるとありますが、お金の要らない施しも、合わせて検討してみればと思えます。

どうぞご協力をよろしく
お願い申し上げます。

【ひとり親家庭・支援団体・応援者の関係】



仏教婦人会レクリエーション

毎年恒例となりました、願船坊仏教婦人会のバスレクリエーション旅行が、安芸高田市吉田の福泉坊さまにお参りさせて頂いたお参りでした。かねてより、いつかお参りさせていたかったいねというお話が出てから何年か経ち：やっと実現いたしました。

福泉坊のご住職さま、福間先生は度々、ご法座のご講師の先生として願船坊にお越しくださいまして、す。文化財に指定されている本堂や庫裏をご案内いただいたり、お寺の由来をお聞きしたり、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。昼食は三次市内のお店で賑やかに美味しく頂戴し、三次ワイナリーで面白い物やワインの試飲も楽しんで、とても楽しいレクリエーション旅行となりました。来年はどこのお寺にお参りさせて頂くのか？と盛り上がりながら、一路帰路についたのでした。(坊守)

仏教婦人会では、毎月の例会の他、楽しいイベントも行っていきます。身近なテラカツとして、ご一緒にお寺参りをしませんか？ご参加お待ちしております。

三次の美味しい夏御膳♪



素晴らしい本堂や特別に内陣も拝観させて頂きました！



住職のひとこと

永代供養墓について皆様にお詫びとご説明をいたします。まず、お詫びはこの度の計画が現在休止しています。本来の予定であれば、十月頃完成予定でありました。しかし、現在工事に着手すらしっておりません。

実は納骨堂などを建てる場合、行政に提出する書類の中に、近隣の方々からの同意書のようなものを頂戴しなくてははいけないのですが、そこで暗礁に乗りあげてしまいました。お寺の役員の方や、いろんな方にご相談いたしました。お寺の役員の方や、いろんな方にご相談いたしました。まして、計画は一旦延期ということにいたしました。今後の見通しとしては、隣の住宅地に全ての方々が住まいになられたところで、再度近隣の方々へご案内してはいかがでしょうか。

近いうちに、改めて納骨堂の建設には着手していきたいと考えております。皆様には、どうぞご理解のほどよろしくお願い致します。

前坊守より 近況報告

十月初旬、実姉の十三回忌のお参りに東北まで新幹線を利用して参りました。翌日、実家の本堂へ七年振りにお参り出来ました。皆に笑顔と元気をもらい、またの日を期待して、ご報告まで。

☆お知らせ☆

秋供養・報恩講法要（海谷 真之師）

十一月二十八日（木） 昼席・夜席

二十九日（金） 朝席・☆おとき・昼席

除夜会 十二月三十一日（火） 夜十一時四十五分より

修正会 一月一日（水） 朝十時より

御正忌法要（住職自動）

一月十五日（水） 昼席・夜席

十六日（木） 昼席

新春落語会（桂 春蝶師）

一月十八日（土） 午後二時より

☆朝活（朝コン）毎週水曜日 朝六時半～七時

☆仏教壮年会 毎月第二水曜日 午後七～九時

☆仏教婦人会 毎月十六日 午後一時半～三時

☆コールKUSHIRA 毎月十六日

午後三時～四時

☆日曜学校 毎月第四日曜日 朝八時半～十時半

※日時が都合により変更する事があります

お寺のホームページです。
<http://www.gansenbou.com>